



2025年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社 K e y H o l d e r  
代 表 者 名 代表取締役社長 大 出 悠 史  
(証券コード番号 4 7 1 2・スタンダード市場)  
問い合わせ先 執 行 役 員 柴 野 光 平  
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

## 負ののれん発生益の計上額の変更に関するお知らせ

当社は、2024年10月18日付け「負ののれん発生益の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて、2024年12月期連結会計年度（2024年1月1日～2024年12月31日）において、株式会社トポスエンタープライズ（以下「トポス」という。）の連結子会社化に伴い、会計監査は未了であり暫定的な処理による識別可能な無形資産等の評価により、公表時点における負ののれん発生益の計上額の変更につき、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 負ののれん発生益の計上について

2024年4月30日付け「(経過開示) 株式会社トポスエンタープライズとの民事再生支援に関するスポンサー契約締結のお知らせ」及び同年8月9日付け「(経過開示) 株式会社トポスエンタープライズとの民事再生支援に関するスポンサー契約締結における未確定事項に関するお知らせ」ならびに「通期連結業績予想に関するご説明」等でご説明のとおり、2024年10月1日付けでトポスが当社グループに子会社として参画いたしました。この度の本決算におけるトポス取得時の会計処理に伴い、識別可能な無形資産等の評価などを行った結果、公正価値で測定された純資産額が支払対価を上回ったことにより、負ののれん発生益2,551百万円を、その他の収益に計上いたしております。

なお、2024年10月18日付けで公表している、負ののれん発生益からは1,051百万円増加しているものの、同開示内でお示ししておりました通期連結業績予想の修正値からは、以下の理由により変動しておりません。

本日付け「2024年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」でもお示ししているとおり、既存事業におきまして、株式会社10ANTZにおける計画の未達などによる営業損失174百万円を計上したことに加え、同社の取得時に計上しておりましたのれんの一部を筆頭に、他のグループ会社における業績動向ならびに次年度以降の計画などを見直した結果、一部固定資産なども合わせた909百万円の減損処理を実施したことなどによりまして、当初想定を大きく上回る減益となり、公表している修正値の

範囲となったためです。詳細につきましては、本日付け「2024年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」  
をご覧ください。

以上